

令和6年度 地方独立行政法人奈良県立病院機構  
医療事故、ヒヤリ・ハット分類別3病院合計発生件数(転倒・転落を除く)

事故の分類	3病院合計(件)	構成比(%)
薬剤	2,386	32.2%
輸血	63	0.9%
治療・処置	568	7.7%
医療機器	392	5.3%
ドレーン、チューブ	761	10.3%
検査	1,075	14.5%
療養上の世話(転倒・転落以外)	924	12.5%
その他	1,230	16.6%
合計	7,399	100.0%

医療事故、ヒヤリ・ハットレベル別3病院合計発生件数(転倒・転落を除く)

レベル分類	3病院合計(件)	構成比(%)
0	2,407	32.5%
1	2,601	35.1%
2	1,351	18.3%
3a	870	11.8%
3b	138	1.9%
4	10	0.1%
5	22	0.3%
合計	7,399	100.0%

(参考)医療事故等の分類(転倒・転落を除く)

レベル	傷害の継続性	傷害の程度	傷害の内容と基準
0	-	-	エラー・不具合に気づき、患者には実施されなかった
1	なし	-	エラー・不具合に気づかず実施したが、患者への実害はなかった
2	一過性	軽度	行った医療または管理により、患者に影響を与えたが、処置や治療を要しなかった
3a	一過性	中等度	行った医療または管理により、本来必要でなかった簡単な処置や治療(消毒、湿布、鎮痛剤投与等の軽微なもの)を要した
3b	一過性	高度	行った医療または管理により、本来必要でなかった濃厚な処置や治療を要した
4	永続的	軽度 ～ 高度	行った医療または管理により、永続的障害が残った 障害が軽度から中等度の場合は4a 障害が中等度から高度の場合は4b
5	死亡	-	行った医療または管理により、死亡

令和6年度 地方独立行政法人奈良県立病院機構  
医療事故等(転倒・転落)レベル別3病院合計発生件数

レベル分類	3病院合計(件)	構成比(%)	R5年度(件)	R6-R5(件)
A	669	75.3%	617	52
B	185	20.8%	175	10
C	13	1.5%	17	▲4
D	21	2.4%	32	▲11
E	0	0.0%	0	0
F	0	0.0%	2	▲2
合計	888	100.0%	843	45

(参考)転倒・転落の分類

レベル	傷害の程度	傷害の内容と基準
A	なし	患者に損傷はなかった
B	軽度	包帯、冷湿布、創傷洗浄、四肢の挙上、局所薬が必要となった、あざ・擦り傷を招いた
C	中軽度	皮膚接合テープ・皮膚接着剤、縫合、副子が必要となった、または筋肉・関節の挫傷を招いた
D	重度	骨折をきたして、ギプス、牽引、手術が必要となった、または神経損傷・身体内部の損傷のため治療が必要となった
E	死亡	転倒による損傷の結果、患者が死亡した
F	不明	記録からは判定不可能